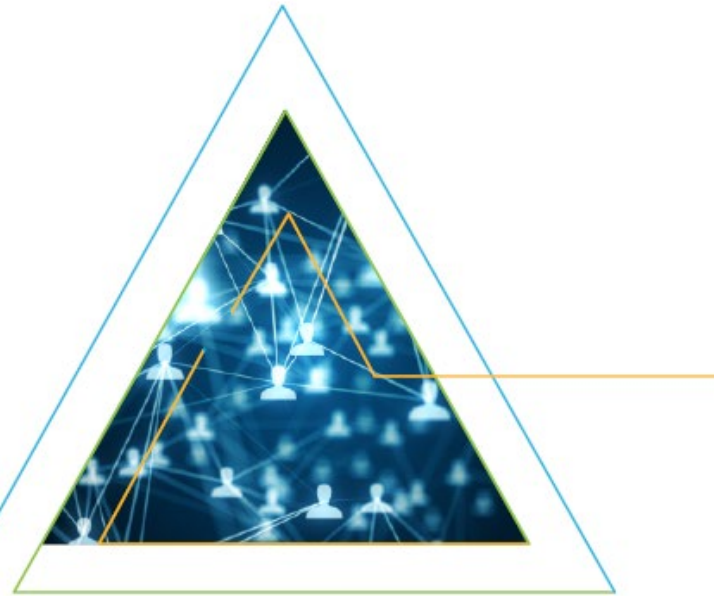


BigFix Lifecycle

単一のエージェントで
エンドポイントを管理する
コスト、リスク、複雑さを削減



近年、運用グループがセキュリティに対する責任をより一層高めるなど、IT機能の集合化が進んでいますが、それに対応する管理ツールの集合化が求められています。統一化、簡略化、合理化された機能がなければ、分散型企業の管理タスクは、規模と複雑さに対応できなくなるリスクがあります。

BigFix® Lifecycleは、現在のIT管理に必要な包括的かつ強力なアプローチを提供します。単一のインテリジェントエージェントテクノロジーにより、エンドポイントの状態をリアルタイムで可視化し、管理者がエンドポイントを管理するための高度な機能を提供します。これによって管理者は、リソースの検索とインベントリー作成、OSの展開、ソフトウェアの配布、リモートデバイスの制御、パッチやその他のシステム変更の管理を行うための単一のツールを使用できるようになりました。

BigFix Lifecycleは、1台のサーバーから数百から数十万のエンドポイントを管理するための正確で包括的な「一つの正しいソース」を提供します。業界をリードするこのソリューションは、展開からわずか数時間で更新サイクルを短縮し、プロビジョニングの成功率を向上させ、ITとヘルプデスクの労力を削減し、エンドユーザーの生産性を向上させることができます。

ハイライト

- 場所、接続タイプ、ステータスに関係なく、何十万ものエンドポイントを管理
- デバイスの検出、OSの展開、ソフトウェアの配布、リモートデバイス制御、サーバーの自動化、パッチ管理を網羅
- 管理とインフラの複雑さを軽減し、トータルコストを削減し、生産性を向上させ、高い投資収益率（ROI）を実現
- BigFix開発チームによって定期的に配信されるFixlet®メッセージが、更新プログラムをポリシー情報で要約し、インテリジェントなエージェントで読み込まれて、特定のエンドポイントに関連する更新プログラムのみがダウンロードされ、インストールされる

全社的な管理の統合と簡略化

ほとんどの分散的な環境では、デバイスの数やネットワークの複雑さが増加している一方で、エンドポイントの可視性や制御が悪く、サービスレベルの維持が課題となっています。管理ツールの量と種類は着実に増え、IT予算やスタッフのレベルは停滞したまま、あるいは削減されています。

BigFix Lifecycleは、企業全体の主要な管理サービスを以下のような方法で簡略化し、統合することで、組織がこれらの課題に対応できるよう支援します。

- デスクトップ、ノートPC、サーバー、POSシステム、ATM、セルフサービスのキオスクなど、すべてのエンドポイントに一元化されたリアルタイムの可視性を提供します。
- 1台の管理サーバーから何十万ものエンドポイントへ拡大
- 場所、接続タイプ、ステータスに関係なく、エンドポイントとの接続性を確保する、軽量かつ柔軟なインフラを提供
- ベアメタルOSのプロビジョニングと移行の高速化
- Microsoft Windows、UNIX、Linux、macOSなどの異機種プラットフォームを単一のコンソールで管理することで、複雑さを軽減
- 管理者が承認したユーザーのセルフプロビジョニング機能により、ユーザーに管理能力を与え、ヘルプデスクの通話量を抑制
- サーバーやワークステーションのリモートデスクトップ制御を提供し、ヘルプデスクへの問い合わせを合理化し、問題解決を迅速化
- 企業ネットワークの内外を問わず、すべてのエンドポイントのセキュリティとコンプライアンスの確保

システムのライフサイクル全体に対応した機能の提供

BigFix Lifecycle には以下の主要機能が含まれており、追加基盤も必要なく、実装コストもかかりません。

デバイス・ディスカバリー

デバイスの発見は、もはや会計のような地道な作業ではなくなります。このソリューションは、基盤上で変化し続ける状況についてダイナミックな状況認識を作成します。ネットワーク全体で分散スキャンを頻繁に実行できることで、ネットワーク全体を広く可視化すると同時に制御を実現し、ネットワークデバイスやプリンタ、スキャナ、ルータ、スイッチ、コンピューターのエンドポイントなどの周辺機器を含むすべてのIPアドレス指定可能なデバイスを、ネットワークへの影響を最小限に抑えながら迅速に特定できるようにします。

デバイスの検索機能は、企業ネットワークを超えてローミングしているノートPCなど、すべての企業エンドポイントの可視性を維持するのに役立ちます。

ソフトウェアの配信

レイテンシが高かったり、ネットワークが低帯域幅、分散資産の可視性が低い、ローミング・エンドポイントのサポートの必要性など、配信の課題に直面している組織にとって、BigFix Lifecycleは、ポリシーを基盤としたインストール、クローズドループ検証、Windows、UNIX、Linux、およびmacOSプラットフォーム上でのソフトウェア配信を一元化して管理する機能を提供します。このソリューションは、ネットワーク性能への影響を最小限に抑えたいうえで、高いファーストパス成功率を実現します。既存のソフトウェアリポジトリは、自動コンテンツ作成機能によって簡単に移行できますが、特殊なプラグインツールがパッケージを検査してソフトウェアのインテリジェント ターゲティングと展開を行います。セルフサービスポータルは、管理者にアプリケーションを承認する機能を提供し、ユーザーが自由にインストールできるようにすることで、スタッフの生産性を向上させると同時に、ユーザーへの影響を軽

減します。



OSの展開

制御の中央化と自動化により、ネットワーク全体を通じての新たなワークステーション、ノートPC、サーバーへのWindowsとLinuxイメージのベアメタルの展開を簡略化し、既存のエンドポイントへのOS移行と更新も簡略化します。同時に、管理コストを削減し、エンドユーザーへの影響を最小限に抑え、組織におけるOS標準へのコンプライアンスを確保し、コンプライアンスに準拠しない設定や安全でない設定に伴うリスクを軽減します。

ハードウェアに依存しないイメージングと高度なドライバ管理機能を組み合わせることで、必要に応じて適切なデバイスドライバをインストールすることで、OSの展



開を確実に進められます。本製品は、OSの移行に伴ってエージェントの履歴が維持され、特殊な登録メカニズムにより、イメージクローンに起因する複製エージェントに固有のアイデンティティが自動的に再割り当てされるため、管理上の損失がありません。新しいOSの展開が完了すると、ソリューションエージェントがアクティブになり、必要なソフトウェアのインストール、セキュリティ設定ポリシーの実施、および重要なパッチの適用が行われます。

パッチ管理

パッチ管理には、Windows、UNIX、Linux、macOS および、Adobe、Mozilla、Apple、Java などのサードパーティ製のアプリケーション用パッチを、分散化されたエンドポイントの場所、接続タイプまたは状態などに左右されることなく配信するための包括的な機能が含まれています。



単一の管理サーバーで最大 25万のエンドポイントに対応可能で、低帯域幅や世界中に分散したネットワークに対してエンドポイントの機能ロスなく、パッチ適用時間を短縮できます。

仮想パッチ管理機能により、オフラインでのパッチ適用ができ、従来の仮想マシンのイメージは過去のものとなります。リアルタイムレポートは、どのパッチをいつ誰が展開したか、また、パッチが適用されたかどうかを自動的に確認でき、パッチ適用プロセスに対する完全なクローズドループソリューションを提供します。

最も重要なこととして、BigFix Patchは、数日～数週間のパッチサイクルを数時間～数分に短縮し、98%以上のファーストパスパッチ成功率を達成しています。

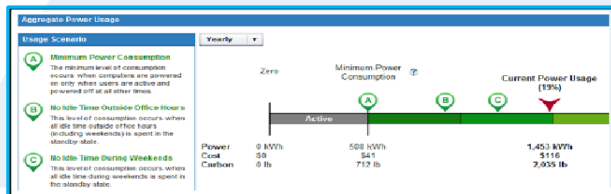
リモートデスクトップコントロール

リモートデスクトップコントロールは、中央からWindows、Linux、macOSのデスクトップ、ノートPC、サーバーのサポートとコントロールを提供します。デスクトップコントロール機能により、システムの管理とトラブルシューティングが可能になり、これによりIT機能が合理化され、インターネットを介した接続であっても、組織のヘルプデスクの負担を軽減できます。リモート診断機能、チャット機能、ファイル転送機能は、管理者やヘルプデスクのスタッフがサーバーやワークステーションの問題を解決するための強力なツールとなります。ネイティブのMicrosoftリモートデスクトップ機能により、ユーザーは自分の環境に適した技術を選択できるようにサポートしています。

電力管理

システム管理の混乱を回避しつつ、電力使用量を削減することで、組織のコストを削減します。この機能により、IT組織は、1台のコンピューターまたはコンピューターのグループに電力管理ポリシーを適用する粒度を与えながら、インフラストラクチャー全体に保全ポリシーを適用できます。この機能は、既に逼迫している予算状況やスタッフへの影響を最小限に抑えながら、電源オプションを管理するための包括的かつ簡略化された機能により、組織的なグリーンイニシアチブをサポートします。

リアルタイム追跡機能により、システム管理者はエンドポイントがアイドル状態、アクティブ状態、スタンバイ状態、オフ状態のそれぞれにおいて、各々の状態で費やす時間を正確に把握でき、現在の電力使用量とコストを正確に把握できます。グリーンインパクトレポートは、保全活動の促進に役立ち、電力使用量の集計データをグラフ化して報告します。データをMicrosoft Excelにエクスポートして、さらに分析できます。



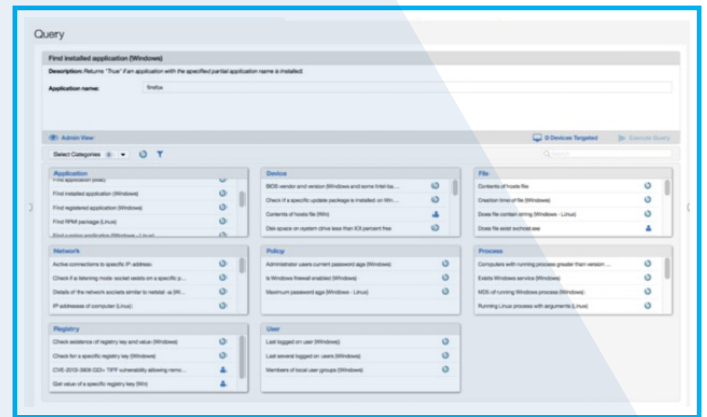
システムをウェイク（Wake-On-LAN）する機能は、BigFix Lifecycleの電源管理によって提供される重要な機能です。システムを「ウェイク」して管理アクションを実行する機能は、ファーストパスの成功率を劇的に向上させると同時に、アクションを「勤務時間外」に実行できるため、ユーザーへの影響を軽減できます。さらに、Wake-On-LANにより、企業はシステム電源のオンとオフを完全に制御できるようになり、非アクティブなマシンがハッカーの攻撃を受けにくくなるため、セキュリティ体制が改善します。

サーバー自動化

物理サーバー、仮想サーバー、およびリモートサーバーの管理をサポートし、リアルタイムでポリシーベースの管理を行うことで運用コストを削減します。物理サーバーと仮想サーバーを同じ単一のインターフェースでシームレスに管理することで、すべての資産の可視性と管理が大幅に向上します。ユーザーは、BigFix Lifecycleを使用して、構築済みまたはカスタムした自動化を使用して、異なるプラットフォームにまたがるサーバーの導入と管理を簡単に行うことができます。自動タスクシーケンス機能は、サーバー構築のような重要なタスク（OSの展開、設定、ソフトウェアの展開、ホスト名の変更、コンピューターの再起動など）に使用でき、また、慎重にシーケンスを行う必要があるその他一般的なシステム管理タスクに使用できます。また、物理、仮想、あるいはクラスター化されたサーバー用の高度な自動パッチの適用もできます。

エンドポイント検査

BigFix Queryにより全エンドポイントの状態がリアルタイムで把握でき、ユーザーフレンドリーなWebインターフェースを使って脆弱なデバイスの正確な特定と検査が行えます。エンドポイントに直接問い合わせをかけても数秒で正確な応答が返され、どのポリシーが強制されているか、どのアプリケーションやサーバーがインストールされているかが分かります。さらにファイルやシステム構成まで調べられるので、さらなるセキュリティ脅威も識別できるでしょう。承認を受けたユーザーは、事前定義されたクエリを使ったり、ユーザー独自のカスタムクエリを迅速に簡単に作成できます。BigFix Queryはエンドポイントの修正を検証できるので、セキュリティとIT運用のギャップを埋められます。



BigFix Family

BigFix への投資はエンドポイント管理をトランスフォームし、ソフトウェアコストを削減し、360度の可視性を実現します。BigFix の顧客は自宅勤務の促進など新しい働き方をサポートする一方で、ITツールとエンドポイントを大幅に集約させました。

BigFix Family には以下のものがあります。

- **BigFix Inventory** – ユーザーはデスクトップ、ノートPCおよびサーバーにインストールされたアプリケーションを発見・分析し、ソフトウェア・パブリッシャー、タイトル、アプリケーションなどに関する情報をバージョンレベルにまでドリルダウンできます。インベントリには、組織が所有しているもの、インストールはしてあるが所有していないもの、ソフトウェアの使用頻度など重要なインサイトがあります。
- **BigFix Compliance** – CIS、DISA STIG、USGCBおよびPCI-DSSによって発表された業界標準のセキュリティベンチマークに沿った数千に及ぶ革新的なセキュリティチェックで、エンドポイント構成のコンプライアンスを継続的に実施します。Complianceは、自動化および単純化されたバッチプロセスを提供し、Windows、UNIX、Linux、macOSを実行しているオンプレミス、ローミングあるいはクラウド・エンドポイントで98%を超えるファーストパスの成功率を誇ります。BigFix Complianceには、Insightsの高度分析プラットフォーム、Modern Client Managementも含まれるのに加え、主要な脆弱性管理システムも統合されています。
- **BigFix Insights Analytics Platform** – このプラットフォームを使って BigFix のデータをサードパーティーのソリューションからのデータと組み合わせて、企業のトレンドを迅速に可視化し、組織の大部分にとって重要なエンドポイントの問題を優先付けして自動的に対応させることができます。その結果、対応が迅速化しプロセスが合理化され、コンプライアンスが向上します。BigFix Insights は BigFix Lifecycle にも BigFix Compliance にも含まれています。

BigFix Modern Client Management - この MDM API アプローチを使って Windows 10 と macOS のエンドポイントの可視性とコントロールを拡張します。このアプローチにより各組織は単一の企業エンドポイント管理ソリューションを使って、従来のエンドポイントと近代的なエンドポイントの両方を管理できるようになります。またエンドユーザー主導のエンrollment、エンドポイントの詳細なインベントリ、リモートワイプなど数多くの MDM アクションも提供されます。BigFix Modern Client Management は BigFix Lifecycle にも BigFix Compliance に含まれています。

なぜ BigFix なのか？

BigFix は判断機能をエンドポイントに分散させた独自かつ高度にスケーラブルな基盤上に構築されています。このことにより、エンドポイント管理コストと基盤の複雑性を軽減する一方で、BigFix Family のソリューション全体にわたってきわめて機能的な利点とパフォーマンス面の利点を得ることができます。

BigFix の機能：

- **単一のインテリジェント・エージェント** – BigFix エージェントは、継続的な自己評価、ポリシー強制などを含む数多くの機能を、システムへの影響を最小限抑えつつ、実行します。アクションをインテリジェントに開始させ、上流の中央の管理サーバーにメッセージを送信して、リアルタイムにパッチ、構成、その他の情報をエンドポイントに引っ張ってきます。BigFix エージェントは Windows、Linux、UNIX、macOS など 90 以上の OS で実行されます。
- **BigFix Fixlets™** – BigFix Fixlets は日々の運用や繰り返しの作業を単純化させる自動化スクリプトです。BigFix には 50 万件以上のすぐ使える Fixlets があり、HCL BigFix チームが月間平均 130 件の Fixlets を配信してライブラリーを更新しています。BigFix ユーザー、ビジネスパートナーおよび開発者はカスタム Fixlets を作成してカスタムポリシーやエンドポイントサービスを実装させることができます。Fixlets のコミュニティー・ライブラリーが BigFix.me にあります。
- **高度にスケーラブルなアーキテクチャー** – 単一の BigFix 管理サーバーで、プライベートまたはパブリック・ネットワークを介して最大 25 万の物理および仮想コンピューターを管理できます。管理対象のエンドポイントにはサーバー、デスクトップ、ローミング中のノートPC、クラウド内のエンドポイント、店頭 (POS) デバイス、現金自動預け払い機 (ATM)、セルフサービス・キオスクなどの専用機器などがあります。
- **マルチクラウド・サポート** – クラウド・エンドポイントは、従来型のエンドポイントと共に、簡単に発見・表示できます。何が環境に存在するかを知ることが道のりの半分です。BigFix を使うと BigFix エージェントをクラウド・エンドポイント上に展開して、完全な可視性・コントロール・セキュリティを実現できます。これにより、Amazon Web Services、Microsoft Azure、Google Cloud Platform、VMware など複数のクラウド環境上で実行されるエンドポイントを、BigFix が管理する他のエンドポイントと共に管理できます。
- **主要なインテグレーション** – エンドポイント管理プロセスと様々な関係者が利用するエンドポイントデータを自動化することにより、ITおよびセキュリティ組織のスタッフの生産性を向上し、ROI を増やすことができます。HCLが提供する統合例の最新のものを挙げると、スキャンデータとBigFix Fixletの相関を自動化することで、主要な脆弱性管理システムで発見される脆弱性を迅速に修復する、BigFix Insights for Vulnerability Remediation Moduleがあります。このモジュールは BigFix Lifecycle または BigFix Compliance のライセンスを有するユーザーが利用できるものです。



さらに詳しい情報

BigFix についてもっとお知りになりたい場合には、HCL Software の代理店やHCL Business Partnerにご連絡いただくか www.BigFix.com をご覧ください。

HCL Software について

HCL Software は HCL Technologies の一部門であり、柔軟性の高い消費モデルを持つ企業レベルのソフトウェアベースのオファの次世代ポートフォリオを開発・提供しています。これらオファーは従来型のオンプレミスのソフトウェア、Software-as-a-Service (SaaS) からバンドル化されたマネージドサービスまでカバーしています。弊社はお客様が価値を作り出すためのスピード、インサイト、革新 (大規模なものも小規模なものも) をもたらします。HCL Software のソリューションには DevOps、セキュリティ自動化、アプリケーション近代化、データおよびインテグレーション基盤、一部のビジネス・アプリケーションなどが含まれます。HCL はメインフレームからクラウドに及ぶマルチモードに至るまで、あらゆるマルチモードITにおける現実世界の複雑性に対処しつつ、お客様の成功に主眼を置き「契約を超えた関係性」を構築します。

© Copyright 2021 HCL

HCL Corporation Pvt. Ltd.

Corporate Towers, HCL Technology Hub, Plot No 3A, Sector 126, Noida
201303.UP (India)

アメリカ合衆国製造

製品名、商標名、登録商標名はすべてそれぞれの所有者の資産です。